

1月の植物

タチバナ（別名ニホンタチバナ）

学名：Citrus tachibana (Makino) Tanaka

平成30年トップバッターはおめでたい植物にしたいと思い、柑橘類のタチバナを選んだ。

タチバナは「橘」と書き、古来より万葉集などにも詠まれ、家紋にもされているおめでたい植物である。また、文化勲章はタチバナの白色の五弁花と曲玉を象られている。

唐津市役所の玄関には向かって左側に「右近のタチバナ」、右側に「左近のサクラ」が植栽されている。日本原産の柑橘類で高さ2m～4mの常緑低木で葉のわきに鋭い刺があり、稀に自然にも生えていて、四国の室戸岬にある自然林は国の天然記念物に指定されている。果実は温州みかんより小ぶりで、実は柔らかく酸味が強く苦いので、生食には向かず、マーマレードなどに加工されている。

武雄市の潮見神社での観察会では境内にも植栽されているタチバナについて、小池副会長から元正天皇御製の歌「橘は実さへ 花さえへ その葉さへ 枝に霜降れど いや常葉の樹」を紹介していただき、歴史を感じることができた。

参考文献 「花歳時記大百科」 北隆館 「樹に咲く花—離弁花②」 一山と溪谷社

